



楽しさ伝える
競技紹介動画を作成

スカッシュラケット愛好会

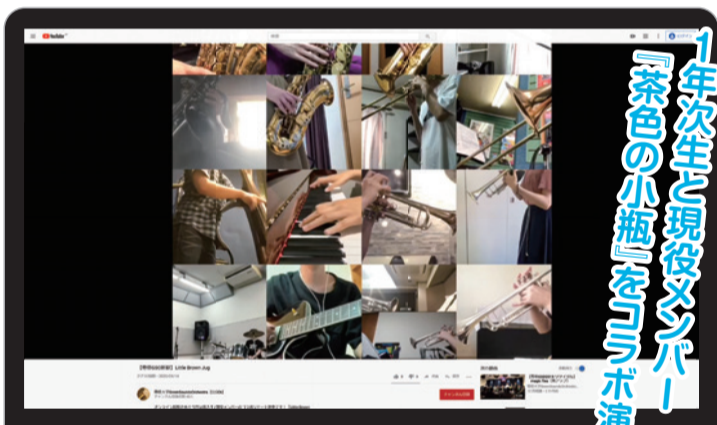
マイナースポーツである「スカッシュ」の楽しさを伝えたいと、飯田歩さん(法2)が作成。公開後は、多くの1年次生から競技やサークルに関する質問があり、とても意義のあるものになりました。
代表 鍛冶本竜汰さん(法3)



リモートで勉強会

手話サークルいろは

毎週木曜日の16時40分から1時間程度、Google Meetで活動をしています。画面で見える範囲が狭いなど、難しさがありますが、家でも練習できるのはオンラインの利点です。今後も継続していきます。
代表 高山紗和さん(文3)



スウィングジャズ研究会

「コロナ禍でも大好きな音楽をみんなと楽しみたい」と、サークルOBの協力を仰ぎながらリモート合奏動画を制作しました。ジャズ初心者でも1年次生3人にも参加してもらい、グリーン・ミラーの『茶色の小瓶』を演奏。YouTube「専修大学 GreenSoundsOrchestra【公式Ch】」で公開しています。この活動を通して、聴く人、演奏する人の双方が楽しんでこそ音楽だと改めて思いました。
代表 谷水柊太さん(経済3)



Zoomで練習会・座談会
ダンス動画も投稿

舞踏研究会

1年次生が競技ダンスを始めるきっかけになればと、Zoomを利用した練習会と座談会を毎週土曜日に行っていました。上級生がイラストで説明したり、画面共有機能を使って踊っている姿を見もらうなど、分かりやすく工夫しました。また、TikTokで、普段の練習会や過去の大会に加え、『うちで踊ろう』と題したダンス動画を公開しています。
代表 佐藤諒介さん(経済4)

創意工夫で
楽しく活動
リモート演奏、作品公開、オンライン練習会……
おうちでサークル

「コロナ禍で思うように集えない」状況が続いています。そんな中、オンラインで活動しているサークルを紹介します。各サークルではリモート演奏会や練習会など、工夫の成果を公開していますので、ご覧ください。ニュース専修では今後もサークル活動を紹介していきます。左記までご連絡ください。
✉ koho@acc.senshu-u.ac.jp



YouTubeチャンネル開設

リモート合奏を公開

吹奏楽研究会

思い出作りにとYouTubeチャンネル「専修大学 吹奏楽研究会」を開設し、リモート合奏を公開しました。各自が演奏動画を撮影し、編集して合奏にするのですが、作品として完成した時は、音が合わさることの喜びや楽しさを実感しました。12月26日(土)には、第57回定期演奏会を予定しています。
代表 木村菜月さん(文4)



研究発表会を
オンラインで開催

茶道文化研究会

稽古をするのは難しくても、研究発表ならばオンライン環境でも十分実施できました。初めての試みで戸惑う会員もいましたが、実施できたことは良かったと感じています。Twitterでは、お茶に合う季節のお菓子を紹介しています。
代表 古根村隆文さん(文3)

書道研究会

Twitterで作品発表



「忠信孝悌」小島春奈さん(文3) オンライン授業で書いた作品です。Twitterでは他の作品も公開しています。



「始建國天鳳元年木簡」代表 下田光耕さん(人間科学3) 夏期休暇期間中に書いた作品になります。新たな作品発表の場として12月に会報を刊行する予定です。

大切なパートナーとしての意識を

「これから授業を始めますが、らいなと思っていました。皆さん、聞こえていますか」と声をかけると、何秒か後に「聞こえています」「大丈夫です」という反応がチャットに表示される、というように画面越しのやりとりが続いていきます。知合いの教員からのメールに「画面に、名前とアルファベットだけが表示され、それらに見られてる感覚は、なんか不思議でした」とありました。「なんか不思議な感じがポイントです。あまり細かいことを気にせずに、"なんか不思議"な表現のつもりで発した言葉が、画面の向こうの誰かを傷つけているかもしれない、大切なパートナーと、のびのびと学ばず、しかもそれに気が付かない。こうした落とし穴があると自戒する一方で、なんとなく気軽に声をかけよう」(キャンパス・ハラスメント 対策委員・荻原 幸子)

「残念ながら、いかなる状況においても、ハラスメントは起こりえます。ほんの冗談のつもり、親しみの表現のつもりで発した言葉が、画面の向こうの誰かを傷つけているかもしれない、大切なパートナーと、のびのびと学ばず、しかもそれに気が付かない。こうした落とし穴があると自戒する一方で、なんとなく気軽に声をかけよう」(キャンパス・ハラスメント 対策委員・荻原 幸子)